

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 令和5年度第1回シンポジウムの開催

(令和5年11月2日、Web会議形式での開催。事前登録者991名、当日視聴回数648回)

- ・官民連携プラットフォームでは、孤独・孤立対策に関する全国的な普及活動を行うためシンポジウムを開催。
- ・令和5年度第1回は、孤独・孤立対策推進法の解説や取り組み紹介、パネルディスカッションを通して、地方公共団体やNPO法人等が、基本理念・施策・推進体制に沿った取組を推進する上での地域の連携の在り方をテーマに開催。

【法解説】 孤独・孤立対策推進法について

報告者 内閣官房 孤独・孤立対策担当室

【パネルディスカッション】 地方公共団体やNPO法人等による連携の在り方検討

(1) 3自治体による取組紹介

報告者 愛媛県 保健福祉部 社会福祉医療局 保健福祉課 越智 一浩氏

概要 令和3年度より孤独・孤立対策支援事業を実施。地域の中堅支援組織等と連携し広域的なプラットフォームを構築。

報告者 神奈川県鎌倉市 松尾 崇 市長

概要 様々な団体同士が互いの意見を取り入れ孤独・孤立対策に繋がる資源を生み出す新たな推進体制のプラットフォームを構築。

報告者 鳥取県鳥取市 深澤 義彦 市長
(動画) / 総務部 人権政策局中央人権福祉センター 川口 寿弘氏

概要 民間や市民(つながりサポーター)と連携し、孤独・孤立の予防・解決に資する包括的なプラットフォームを構築。

【パネルディスカッション】 地方公共団体やNPO法人等による連携の在り方検討

(2) 取組課題や対応策に関する意見交換

モデレーター

内閣官房 孤独・孤立対策担当室 政策参与/大西連氏

パネリスト

- ・内閣官房孤独・孤立対策担当室 山本 麻里 室長
- ・社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子氏
- ・特定非営利活動法人日本NPOセンター 事務局長 吉田 建治氏
- ・愛媛県 保健福祉部 社会福祉医療局 保健福祉課 越智 一浩氏
- ・神奈川県鎌倉市 健康福祉部 福祉総務課 福祉政策担当 内藤 克子氏
- ・鳥取県鳥取市 総務部 人権政策局中央人権福祉センター 川口 寿弘氏

- 中間支援組織との連携の在り方について議論。行政と民間団体との距離感を埋めたり、福祉等の専門職に限らない幅広い孤独・孤立対策に資する団体を巻き込むことが期待できる。分野に拘らず、役割を明確にして目的意識を共有することが重要。
- 福祉施策の枠に収まらない全庁的な取組の在り方について議論。行政内は官民連携プラットフォーム等で横断的な会議体を設けたり共通言語を設けた上での連携を行いながら、民間側からも様々な部署と連携をはかる動きが生まれることが理想。